平成23年12月10日発行

東京都議会議員　高木けい
都議会レポート　Vol.5

東京都と都議会は、2020年のオリンピック東京招致に向けて再び動き出しました。世界最大のスポーツの祭典は、閉塞感の漂うわが国の現状に新たな夢と希望を創り出すだけでなく、先の震災によって深く大きく傷ついたわが国が復興に取り組み、その姿を世界中に発信する意味合いは決して小さくないと考えます。東京が開催都市となり、競技によっては震災の被災地にも会場を配置するなど、『復興オリンピック』と位置付けることによって国民的な新しい目標が生まれます。

ところで、オリンピック招致にはもう一つの大きな目的があります。それは国民全体のスポーツの裾野を広げていくこと。老若男女、あるいは健常者も障害者も、全ての人たちにとって、健康づくりや生きがいの一つとしてスポーツは大切です。オリンピック招致への取り組みを一つのきっかけとして、私は地元北区においても、スポーツに親しめる地域社会づくりに一層力を入れていきます。

具体的には、西が丘の都立産業技術研究センター跡地を、防災機能を備えたスポーツ広場に、また十条台の障害者スポーツセンターは全面的なリニューアルによって、世界に誇れる障害者スポーツの殿堂に再生することを考えています。いずれも先般、北区並びに北区体育協会から東京都に要望書が提出されました。加えて先の北区議会第三回定例会では区議会自民党議員団の代表質問でも取り上げられ、その方向性が見えてきました。成熟社会の中でのより質の高い地域社会を築いていくために、私はスポーツによるまちづくり、スポーツによる健康と生きがいづくりに、力強く新たな一歩を記していく決意です。

■皆様のご意見をお聞かせ下さい。
東京都議会議員　高木けい事務所
〒114-0002　北区王子1-27-14　佐藤ビル3階　TEL 3927-5722　FAX 5959-6831
HP: http://takagi.exblog.jp/　E-mail: mark1@r7.dion.ne.jp

▼東京都議会議員　高木 けい　活動の記録

◆平成23年10月6日の財政委員会。前年より財政委員長に就任し、主に税と財政運営の責任者として、都政全般の政策にかかわってきました。3月の東日本大震災を受け、都は緊急対策として1374億円の補正予算を都議会第2回定例会に提案。国がもたつく中、都議会は迅速に予算を可決させ、被災地支援はもとより高度防災都市づくりに向け、石原都知事とともに積極的な対策を打ち出しました。

◆平成23年10月28日。北区豊島連合町会の皆さんと、副知事及び下水道局に陳情。地形的な特徴から、北区豊島地区は集中豪雨による浸水被害にたびたび悩まされてきました。そのため、このたび下水道の改善を要望。副知事及び下水道局から今後の対策について詳細な説明を受け、1日も早い施設の完成を求めました。

◆平成23年5月13日。東日本大震災の被災地・宮城県気仙沼市を訪問。住民は全員避難されているため、物音ひとつない夕暮れの瓦礫の中を歩いて視察。いまだかつて見たことのない光景に戦慄を覚え、地震ではなく津波被害の想像を絶する恐ろしさに胸が詰まりました。現地からの報告では、現在ではだいぶ瓦礫も片付いてきたとのこと。被災地に対して、東京もできるだけの応援をしたいものです。

▼都議会議員として取り組んできた主な政策課題は以下の通り。

1. 都議会自民党入札契約制度改革プロジェクトチーム（入札ＰＴ）を立ち上げ、公共工事の正しい在り方を提言。都の入札制度改革の流れをつくり、現在も継続中。
2. 密集市街地の防災機能向上のために、木密地域の早期解消と電線類地中化の推進、中小河川の水害対策として地下調節地の積極的な設置と下水道改善を推進。
3. 東日本大震災を受け、非常時の通信手段の確保対策へ、国・東京都・携帯電話会社などの協議会立ち上げを実現。本年11月発表された「防災対応指針」に盛り込む。
4. 高齢者の住いについて、ケア付き住宅等、医療・介護の連携をすすめ、安心してくらせる長寿社会の実現を提言。また高齢者向け賃貸住宅制度をわかりやすく再編。
5. 上記ほか、税・財政制度、福祉、子育て、教育、環境、産業・文化・スポーツ振興などの多岐にわたる課題について、国政への提言も含めて奮闘中。